

第3部「恵まれない子たちと共に」

(8)職業訓練始まる

文責
平和教育マスター
新井 榮



生活の基盤作りをしていた時、年長の2人の子が、もう学校を辞めて仕事をしたいというのです。話を聞いてみると一番上の子は床屋さんの仕事を、もう1人の子は自転車修理の仕事をしたいとのこと。それで早速村の市場の近くにある顔見知りの床屋さんと自転車屋さんをお願いに行きました。すると床屋さんも自転車屋さんも快く受け入れてくれたのです。しかも無報酬です。この人たちは、センターの子たちがどんな目的で共同生活をしているかを分かっていたし、また子供たちの世話をする人が村長さんの奥さんであるということもあり、とても協力的だったのです。お陰で2人の子たちは、次の日から職業訓練に通うようになりました。その様子を見ていたもう1人の年長の子が、自分も自転車屋さんになりたいと言うのです。それで、この子ともお願いして受け入れてもらいました。これで年長の子達全員が職業訓練を受けることになったのです。この3人の子たちは、夕食時間頃になるとニコニコ顔で帰ってきます。そして以前より明るくなり、小さな子たちの面倒もよく見るようにもなりました。この子たちは、おそらく自分のやりたいことが見つかればそれに打ち込むことができる喜びや充実感が彼らを変えたのだと思います。ところで年長の子たちがいずれも手に職を付ける道を選んだのですが、これにはカンボジア特有の訳があるのです。と言いますのは、この国は戦後間もなくということもあり産業の発達が著しく遅れてしまいました。そのため若者たちの働くところがとても少ないのです。そこで彼らは、学校にほとんど行ってないけれど手に職を付けられれば生活はできると考えたのでしょう。特に自転車は、日本の車のように人々の足として広く使われていますし、多くの貧しい人達は修理をしながら使い続けています。これらの生活経験ある彼らだからこそ考えついた職だったのでしょう。



公民館図書室 新着図書のご案内

開室日 火～日曜日 9時～17時
☎ 早来:22-3224、追分:25-2565

新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。

早来公民館

- 〈一般書〉種まきびとのちくちくしごと(早川 ユミ)／派遣添乗員へトヘト日記 当年66歳、本日も“日雇い派遣”で旅に出ます(梅村 達)／永田町動物園 日本をダメにした101人(亀井 静香)／新しい星(彩瀬 まる)／夜叉の都(伊東 潤)
- 〈児童書〉楽しい草つみ花つみクッキング 草と花のカラフルおやつ(農山漁村文化協会 編)／知って話そうニュースの言葉(キッズトリビア倶楽部 編)／いっしょなら(ルーク・アダム・ホーカー)／たまごのはなし(しおたに まみこ)／虹いろ図書館のかいじゅうたち(櫻井 とりお)

追分公民館

- 〈一般書〉50代になった娘が選ぶ母のお洋服 魔法のクローゼット(くぼしま りお)／動物たちの家(奥山 淳志)／日本語の大疑問 眠れなくなるほど面白いことばの世界(国立国語研究所)／同志少女よ、敵を撃て(逢坂 冬馬)／少女たちの戦争(中央公論新社 編)
- 〈児童書〉はじめての日本のれきしえほん(溝口 イタル)／博物館の少女 怪異研究事始め(富安 陽子)／おはようスーちゃん(ジョン・G・ロビンソン)／みてよびかぴかランドセル(あまん きみこ)／ねこのオーランドー(キャスリーン・ヘイル)

今月の展示テーマ

『新生活を応援』

あんなに積もった雪も解けて、新しい年度が始まります。入園、入学、進級進学、就職。4月から新しい生活を始める皆さん、おめでとうございます。新しい環境でのスタート。ドキドキしたり、わくわくしたり、希望いっぱいのお春です。そんな新しい生活のお役に立ちそうな本をあれこれ展示します。どうぞご利用ください。

◆ 読み聞かせ 4月日程 ◆

◆ 読み聞かせ 4月日程 ◆	日時	場所
読み聞かせ ひまわり会	未定	遠浅コミュニティセンター
読み聞かせ ありんこ会	4月9日(土)10時30分～	早来公民館図書室(早来町民センター)
ブックスタート読み聞かせボランティア 赤ずきん	未定	おいわけ子ども園子育て支援センター